

Your Capital Market Intelligence

IR Japan

株主と企業を結ぶコンサルティング・パートナー



決算説明会資料

2012年3月期第3Q（2011年4月1日～2011年12月31日）

2012年2月1日

株式会社アイ・アール ジャパン（6051）

株式会社アイ・アール ジャパンの承諾なしに、本レポートの全部もしくは一部を引用または複製することを厳重に禁じます。



I . 2012年3月期第3Q業績報告・通期業績予想



2012年3月期第3Q 決算ハイライト

2012/3期の通期業績予想(2011年5月13日発表)を上方修正。

(百万円)

	2011/3期 3Q累計実績 (A)	2012/3期 3Q累計実績 (B)	増減 (B)-(A)	増減率 (%) ((B)-(A)) / (A)	2012/3期 通期修正 予想* (前期比)	2012/3期 通期当初 予想**
売上高	2,114	2,177	63	3.0%	2,660 (6.4%)	2,620
営業利益	483	500	17	3.6%	471 (13.5%)	451
経常利益	501	502	0	0.2%	470 (12.3%)	450
当期純利益	259	229	▲ 30	▲ 11.7%	210 (22.1%)	198

(*) 2012年3月期通期修正予想の発表日: 2012年2月1日

(**) 2012年3月期通期当初予想の発表日: 2011年5月13日



2012年3月期第3Q 決算の要点

【P/L】

- 第3四半期の業績はおおむね予想通りに推移。足元の業績が順調であることから、**通期の予想を上方修正**。
- 有事に伴う大型案件の売上はないものの、不安定な市場環境のもと市場リスクに敏感となった上場企業のお客様からの通常案件受注が順調に増加した結果、売上高は前期比3.0%増の2,177百万円を達成。
- 業容拡大に向けたコンサルタントの増員(6名採用済)が順調に進み、人件費は増加したものの、営業利益は3.6%増の500百万円、経常利益は前期比0.2%増の502百万円となった。
- 前期に発生した資産除去債務に係る特別損失がなくなったものの、法人税等の見積方法が異なるため、当期純利益は11.7%減の229百万円となった。

【B/S】

- 純資産は、利益剰余金の増加178百万円等により、2011年3月期末に比べ177百万円増加し、1,287百万円となった。
- 自己資本比率は、2011年3月期末の63.5%から8.6pts上昇し、72.1%となった。
- 一株当たり純資産は、2011年3月期末の658.11円から16.0%増加し763.26円となった。



2012年3月期第3Q サービス別売上高 実績

(百万円)

	2011/3期 3Q累計実績 (A)	2012/3期 3Q累計実績 (B)	増減 (B)-(A)	増減率 (%) $((B)-(A)) / (A)$
IR・SRコンサルティング	1,530	1,553	22	1.5%
ディスクロージャー コンサルティング	419	457	38	9.2%
データベース・その他	164	167	2	1.3%



2012年3月期第3Q サービス別の要点

【サービス別】 <売上高(前期比)>

●IR・SRコンサルティング <1,553百万円(1.5%)>

- ✓ 上場企業各社における、株主からの賛成票確保・アクティビストファンド対策等の当社IR・SRコンサルティングサービス(株主判明調査ならびに議決権行使促進活動)のニーズが増大し、委任状争奪戦やM&A等の大型案件(有事案件)以外の新規及び既存顧客の通常案件の受注が堅調に推移。
- ✓ 株式持合いの解消に伴う受け皿としての外国人投資家の増加、ならびに震災以降不安定化した株価への対応として、海外実質株主判明調査の実施企業数及び当社受託社数が**過去最高**。
- ✓ 一方、経営統合等の案件数は増加の兆しがみえるものの、米国居住株主調査(10%テスト)の多くが12月末までにクローズしなかったため、IR・SRコンサルティング全体としては微増に留まった。

●ディスクロージャーコンサルティング<457百万円(+9.2%)>

- ✓ ツールコンサルティング(Annual Report、株主通信等の企画・作成支援)は、Annual Report、株主通信の企画・作成業務に加え、IRサイト構築サービスの新規受注等により増収となった。
- ✓ リーガルドキュメンテーション(各種法定開示書類等の英文開示書類の作成や和文資料の英訳)は招集通知等の翻訳の増加、起債に伴う英文目論見書の作成業務の受注等により、増収となった。

●データベース・その他<167百万円(+1.3%)>

- ✓ 発行体向けサービス(「IR・Pro」)は契約増加により増収となったものの、前期の売上に寄与した所在不明株主関連サービスの実施を当期は見送ったため、データベース・その他全体としては微増となった。



2012年3月期第3Q 前期比増減要因分析

(百万円)

	2011/3期 3Q累計実績 (A)	2012/3期 3Q累計実績 (B)	増減 (B)-(A)	主な要因(利益に対する影響)
売上高	2,114	2,177	63	
営業費用* (売上原価+販管費)	▲ 1,631	▲ 1,677	▲ 45	<ul style="list-style-type: none"> ・業容拡大に向けた人員増加等による人件費増加(▲64M) ・デスクロージャーコンサルティングの売上増加に伴う外注費の増加(▲9M) ・地代家賃及び支払手数料の減少(44M) ・その他経費の増加(▲15M)
営業利益	483	500	17	
営業外損益	17	1	▲ 16	・前期は保険解約による返戻金(11M)に加え、株式受贈益(4M)が発生
経常利益	501	502	0	
特別損益	▲ 33	0	33	・前期は資産除去債務(▲33M)が発生**
税引前利益	467	502	34	
法人税等	▲ 208	▲ 273	▲ 65	・当期は見積実効税率をより厳密に算定したため(▲65M)
当期純利益	259	229	▲ 30	

* 営業費用：当社では就業時間に応じて人件費等を売上原価及び販管費に各々計上しているため、売上原価及び販管費の計上額が就業時間によって大きく左右されます。そこで、人件費等の各費目について、売上原価及び販管費を合算することで、就業時間に影響を受けない分析を行っております。

** 資産除去債務：会計基準の適用に伴い、現在入居中の事務所から退去する場合を想定した原状回復費用の計上が必要となりました。

2012年3月期 業績予想

2012/3期の通期業績予想(2011年5月13日発表)を上方修正。

(百万円)

	2011/3期 通期実績 (A)	2012/3期 通期修正予想 (B)	増減 (B)-(A)	増減率 (%) ((B)-(A)) / (A)	2012/3期 通期当初 予想**
売上高	2,500	2,660	159	6.4%	2,620
営業利益	414	471	56	13.5%	451
経常利益	418	470	51	12.3%	450
当期純利益	172	210	37	22.1%	198
のれん考慮後 当期純利益*	257	295	37	14.8%	283

* のれん考慮後当期純利益

当社はMBOに伴うのれん代を2009/3期より毎年85百万円償却(2013/3期まで)。

そのため、のれん代の償却がなくなる2014/3期以降の当期純利益と適切に比較するために、

当期純利益に85百万円を加えたものを「のれん考慮後当期純利益」として算定。

なお、組織再編税制における適格合併のため(法人税法施行令8条1項21号)、税務上のれんは非発生。

その結果、のれん償却費 85 百万円は損金不算入となり、課税所得に加算される(法人税増加)。

- 3Q累計の売上高は前期比3.0%増に留まったが、足元の業績が順調なため、通期での予想を**上方修正**。
- 3Q累計の営業利益及び経常利益はそれぞれ前期比3.6%増、0.2%増となったが、売上高の増加に加え、営業費用がおおむね予想通りに推移したため、通期での予想を**上方修正**。
- 3Q累計の当期純利益は法人税等をより厳密に算定したため、前期に比べて法人税等の金額が一時的に増加。税制改正に伴う繰延税金資産の取崩しによる法人税等の増加分を加味した上で、通期での予想を**上方修正**。



2012年3月期 業績予想の要点

- 第3四半期の業績がおおむね予想通りに推移し、足元の業績が順調であることを踏まえて、2012年3月期の予想は、売上高が6.4%増の2,660百万円、営業利益は13.5%増の471百万円、経常利益は12.3%増の470百万円を見込む。
- 不安定な市場環境のもと上場企業のお客様からの株主対応業務(SR活動)への受託増加を見込む。
- 経営統合、業界再編等の大型案件受注は期待できるが、予想には織り込まず。
- 業容拡大に向け、コンサルタントの増員を計画(今期8名採用予定の内、4~12月の採用実績6名、1月の採用実績2名)。

2012年3月期 期末配当について

2012年3月期の期末配当は、米国基準(35%)の配当性向を目標とし、すでに前期実績30円から10円増配の1株あたり40円を発表しておりましたが、予想当期純利益210百万円を基準とし、足元の業績が順調であることを踏まえて、これより5円増配し**45円**を予定。

前期実績30円に比べて15円の増配(増加率50%)

(参考)配当利回り **3.9%** 2012/1/31 終値(1,149円)基準

(参考)1株あたり期末配当金について

	前回予想 (2011年10月28日発表)	今回修正予想 (2012年2月1日発表)	前期実績 (2011年3月期)
1株あたり期末配当金	40円	45円	30円



Ⅱ . 2012年3月期 事業戦略の概要・4Qの取組み



IR・SRを取り巻く環境

- 見えない株主（外国人・国内機関投資家）のプレゼンスの高まり
— 欧米では株主提案権行使が急増
- 企業再編の急加速（業界、子会社等）
- 企業不祥事とコーポレートガバナンスの強化へのシフト
- 株主総会における議案否決（取締役・監査役選任、定款変更、役員報酬等）リスクの高まり

議決権の安定確保を目的としたSR活動の普及が加速
（当社収益機会の拡大）



2012年3月期 事業戦略の要点・4Qの取組み

事業戦略の要点：SRの普及（セミナーの開催・営業体制の強化）

■IR・SRコンサルティングセミナーの開催

2011年9月～10月に東京・大阪・京都・名古屋・神戸の各地でIR・SRコンサルティングセミナーを満員御礼の中で開催いたしました。日本を代表する上場企業の皆様に多数ご来場頂き、株主対応に対する関心の高さを確認することが出来ました。ご好評をうけ、3月に名古屋で追加のセミナーを開催いたします。

■営業体制の強化（収益機会損失の防止）

コンサルタントを増員し、研修等を通じて育成をすすめる営業体制を強化しました。他社が追随できないきめ細やかなお客様対応を質・頻度の面で向上させ、適時適切な提案を行うことで収益機会損失の防止をはかりました。その結果、第3四半期末の取引社数は前期末の取引社数を上回りました。

4Qの取組み：サービスの拡充（制度改正への対応）

会社法の改正による社外取締役（独立役員）の設置義務化を睨み、「社外取締役（独立役員）紹介サービス」のインフラを強化するなど、お客様のニーズを先取りするサービスの拡充を目指します。

Your Capital Market Intelligence

IR Japan



株主と企業を結ぶコンサルティング・パートナー

Your Capital Market Intelligenceとは、IR Japanが発行企業、投資家の皆様の資本市場でのリスク回避や多種多様なニーズへの対応をコアビジネスとし、独自のIntelligence(高度な情報を駆使して解決する能力)をフル活用し、持続的な成長を加速させることを示すコンセプトです。